

登録コード	E8182100	開講年度	2026			
授業科目	英語教育ゼミナール				担当教員	酒井 英樹
英文授業名	First-Year Seminar for English Education Majors				副担当	田中 江扶・金子 史彦・山本 大貴
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・4時限	対象学生
講義室	共通教育 2 1 1 演習室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				ブックレポート及びグループによる課題解決学習（英語教育、英語学、英語文学に関するテーマ）と、それぞれそれぞれの自己レポート作成により、大学での学習の仕方が、高校までの学習の方法とどのように違うのかを理解し、大学での学習を深める力を身につけるようにする。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				ブックレポート及びグループによる課題解決学習（英語教育、英語学、英語文学に関するテーマ）と、それぞれそれぞれの自己レポート作成により、大学での学習の仕方が、高校までの学習の方法とどのように違うのかを理解し、大学での学習を深める力を身につけるようにする。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	ブックレポート及びグループによる課題解決学習（英語教育、英語学、英語文学に関するテーマ）と、それぞれそれぞれの自己レポート作成により、大学での学習の仕方が、高校までの学習の方法とどのように違うのかを理解し、大学での学習の仕方を身につける。					
(5)授業計画	以下の計画は予定である。確定した課題とテーマは第1週に明示する。 第1回 オリエンテーション 酒井 第2回 ブックトークの趣旨説明と問題解決学習 酒井 第3回 ブックトーク（図書館で借りた本・報告） 山本 第4回 課題解決学習（未定） 山本 第5回 ブックトーク（指定された本・報告） 田中 第6回 課題解決学習（辞書課題） 田中 第7回 なし（下の注を参照） 6月8日 第8回 ブックトーク（文学作品） 金子 6月15日 第9回 課題解決学習（シェークスピア課題） 金子 6月22日 第10回 なし（下の注を参照） 6月29日 第11回 ブックトーク 未定 第12回 課題解決学習 未定 第13回 振り返り 授業アンケート 酒井 第14回 なし（下の注を参照） 第15回 なし（下の注を参照） 注 第7回と10回は、特別ゼミナールを別日に実施します。 第14回と15回は、以下のeALPSオンラインガイダンスに振り替えます。 ●情報セキュリティガイダンス ●こころの健康・大学生活のリスク対策 4名の教員がオムニバスで行う。					
(6)成績評価の方法	「ブックレポートやグループでの課題解決学習を通して、自分が考えたことや思いなどを日本語や英語を使って他者に伝えることができるようになったか」を評価するためにブックレポートと事後レポート（30点、ブックレポートは当日UL、事後レポートは一週間以内にUL） 「グループでの課題解決学習を通して、他者と協力し、解決することができるようになったか」を評価するために課題解決学習の状況と事後レポート（50点、学習の状況の様子は当日授業内、自己レポートは一週間以内にUL） 2つの目標が達成できたかを評価するためにブックレポート及び課題解決学習を通して学んだことを自己評価する最終レポート（20点、7月24日提出）。					
(7)成績評価の基準	「卓越している」 効果的に図書館を利用し各種の情報収集を活用しているブックレポートを作成しており、他者とよく協働しながら課題を解決している。また、最終レポートにおいて、自己の学びを自覚している。 「かなり上にある」 図書館を利用し各種の情報収集を活用しているブックレポートを作成しており、他者と協働しながら課題を解決している。また、最終レポートにおいて、自己の学びを自覚している。 「やや上にある」 ブックレポートにおいて図書館や各種の情報収集方法を活用しようとしており、他者とともに課題を解決している。また、最終レポートにおいて、自己の学びを自覚している。 「水準にある」 ブックレポートにおいて図書館や各種の情報収集方法を活用しようとしており、他者と協働しながら課題を解決している。また、最終レポートにおいて、自己の学びを自覚しようとしている					

(8)事前事後学習の内容	・家庭学習において、読書およびレポート作成、発表の準備が課される。レポートは eALPS にアップロードすること。 ・授業後には、ブックレポートのリアクション及び課題解決学習の振り返りを eALPS にアップロードすること。 この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。
(9)履修上の注意	・本ゼミナールは、教育学部英語教育コースの学生のための「新入生ゼミナール」である。 ・本ゼミナールは、「国語教育ゼミナール」と合同で行うこともある。 ・積極的な参加を期待する。授業を英語で行うことがある。
(10)質問、相談への対応及び連絡先	英語教育コースでは、酒井英樹 (sakaih@shinshu-u.ac.jp) がメールにて質問・相談を受け付けます。
【教科書】	特に指定しない。
【参考文献】	授業中指摘する。